

# 村長村政報告

紙面の都合で、内容は一部省略してあります

## 市町村合併

11月11日に開催された第12回南相馬合併協議会において、「規約の一部変更」による飯館村の離脱議案が承認されたことを受け、11月15日に関係4市町村において臨時議会が招集され、この規約変更議案が4市町村でそれぞれ可決され、飯館村が正式に合併協議会から離れることになりました。

本件については、今年2月より南相馬合併協議会に加入し、協議を重ねてきたところですが、今後飯館村は自立の道を歩むことになりました。

この間、議員の皆様はじめ協議会委員並びに多くの村民の方々に、村の将来について真剣にお考えいただき、議論を交わしていただいたことに対し、改めて心から感謝と御礼を申し上げます。

また、今回の離脱の件について、関係市町には多大なるご心配とご迷惑をおかけしたことに對しても、深くお詫びを申し上げます。

今後は、自立の村づくりに全精力を傾注し、村民福祉向上と村勢進展に努めていきます。

## 自立計画

自立計画を早期に策定するため、11月15日付けで企画室内に「自立対策係」を設置し、2人の職員を配置しました。

住民と行政が一体感を持ちながら、自立した村づくりを進めるため、次の3点を大きな柱として検討を進めているところです。

第1は、村づくりの考

え方を「ハードからソフト重視」への転換を積極的に図ることです。

本村は、歴代村長をはじめ協議会議員など先人の「努力があつて、生産基盤や道路・公共施設などの整備は、他の市町村に劣らない状況です。

今後は、この整備された生産基盤などを生かし、さらには地域の特性・生産物などを生かし、地域経済の発展を図るためのシステムづくりや人材養成など、ソフト面の取り組みが重要だと考えています。したがって、第5次総合振興計画でのハード事業についても、自立の視点から取捨選択を行い、住民生活向上のためのソフト面を重視した事業展開に努めたいと考えています。

第2は、行財政改革の断行です。

厳しい財政状況を乗り切るため、今まで以上に事務事業の見直しと、人

件費削減などによる行政経費のスリム化を図っていきます。

また、公共料金などの見直しも行い、受益者の適正な負担もお願ひし、健全な行財政運営に努めていきたいと思ひます。

第3は、村民と行政の協働の推進です。

第5次総合振興計画の「やるきつながらブランチ業」に象徴するように、住民と行政が知恵を出し合い、協力し合い、それぞれ役割分担を明確にすることに、行政経費の節減を図っていきたく考えています。

こうした改革には必ずと痛みが伴うものです。「将来の子や孫たちのために、等しく痛みを分かち合おう」という、村民全体の共通理解が何よりも大切であり、それ無くして改革も自立も成り立ちません。そのためには、充分な話し合いの機会が必要であり、議会をはじめ

め村民の皆様と話し合う機会を、年内に設定してあります。

なお、行財政改革の推進については、当面年度予算に反映できるところは即座に反映し、また、その後の議会や村民との話し合いを通して、順次実行に移していきたいと考えています。

自主財源が乏しい飯館村が自立していくには、決して楽な道ではありませんが、真剣な話し合いを通して村民全体が共通理解に立ち、一丸となつて取り組んでいけば、必ず自立の道が開けると確信していますので、議員各位並びに村民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## いいたて秋まつり

10月30日と31日の2日間、村公民館など3会場で開催しました。

当日は、恒例となった「収穫感謝祭」や「総合花と同様、天候の影響でプロッコリーは品質の低下が見られましたし、カボチャについては、大産地である北海道の出荷と競合し、価格が伸びなかつたようです。対前年比で売上げが伸びているものは、いんげんが1、675万円、きゅうりが811万円、ほうれん草が501万円、ミニトマトが1、166万円、プロッコリーが625万円などです。

## 葉たばこ

11月30日から12月9日までの出荷でしたが、生産農家133戸で販売金額が4億1、629万円となつています。

また、葉たばこの廃作については、17年度過剰在庫発生を解消することから、10ヶ当月20万円の廃作協力で自主廃作の希望を募つたよつです。廃作協力の交付対象は、年齢が満60才以上ま

文化展、「JAまつり」、「商工まつり」に加え、今年新たに「あぶくま高原そばフェスタ」など、多彩なイベントが行われ、訪れた多くの村民は秋まつりを満喫していたようです。



豊作に感謝した収穫感謝祭

## 第16回あぶくしま駅伝

白河市から福島市までの95・2キロ、16区間を1本のタスキでつなぐ、「ふくしま駅伝」が11月21日に行われました。

今年、選手層の若返りを図り大会に臨んだ飯館村チームは、総合10位、村の部優勝という輝かし

い成績を収めました。

特に、中学生・高校生の走りが素晴らしく、村民に大きな感動と誇りを与えていただきました。

大会及び大会当日まで物心両面にわたり、ご支援とご指導・ご協力をいただいた多くの村民の皆様と、チーム一丸となつて走破してくれた監督をはじめとする選手団に、心から感謝します。



若い力で村の部2連覇を達成した飯館チーム

## 農業関係

国内的には、春から好天に恵まれましたが、今年には例年になく台風が多く上陸し、また10月には新潟県中越地震も発生するなど、大きな自然災害により人・物的に甚大な被害に見舞われています。

幸いにも、本村では台風による大きな被害はありませんでした。

## 米

水稻については、生産数量と併せて配分した作付可能面積872・3畝に対して、789・6畝の作付、地域間調整2畝でした。

売れる米づくりとして、エコ米の生産に取組み、減農薬としたためか、カメ虫の被害が多かつたことと、秋の収穫期に、雨の影響で適期収穫が出来なかつたため、1等米比率が、うるち米78%、もち米61%、2等米比率が

## 野菜

全体の売上げは2億6、992万円で、対前年比5、317万円の増でした。

## 花卉

春先からの高温で生育が進んだため、特にトルコギキョウ、グラジオラスの出荷のピークがお盆前になつたことで単価が低くなり、全体の売上げに影響しました。全体の売上げは1億4、717万円で、対前年比で2、127万円の増となつています。内訳は、リンドウが919万円、トルコギキョウが666万円、グラジオラスが410万円、その他132万円の増です。

たは、作付面積が40ア以下の方ですが、村では17戸、約6・8畝の面積が廃作するよつです。

等立地地域振興支援事業の補助を受けて取り組んでいます。

定です。

の合計4、876頭で1頭平均価格が46万8、285円と、県家畜市場が始まって以来の高値取引となりつつあります。

が7戸あります。現在建設中の畜産農家においては、早急に整備を完了するよう指導しているところですよつです。

### 平成17年度産米の目標数量

11月22日に、全体の目標数量を本年より6万トン少ない、851万トンと示されました。このうち福島県には、対本年比2%、8、010トン少ない39万320トンが配分されています。

8月20日から10月20日まで募集した結果、国内外から2、950句の応募があり、現在50句の選定を篠まどかさんにお願ひしています。入選句が決定後、村民の森あいの沢に句碑を設置します。

「宿泊体験館きこり」については、9月以降も法要等で新館利用が順調に推移しています。

また、JA全農の県家畜市場子牛取引きの中で、本村の子牛価格は、去勢278頭で1頭平均51万2、803円、雌208頭で1頭平均43万7、175円、去勢・雌の合計487頭で48万2、603円と、県家畜市場子牛取引平均価格より1万4、318円の高値取引となりつつあります。

肥育事業については、依然として枝肉価格の高値取引が続いており、販売価格は1頭あたり92万9、568円、上物率も約70・3%となっています。

### 愛の俳句

昨年度まで、福島県地域づくりサポート事業により進めてきましたが、今年度は、福島県原子力

「道の駅そつま」において、相馬地方の伝統芸能を披露するものです。本村からは9月に宮内地区の宝財踊りと手踊りのグループが、10月には上飯樋の赤坂神楽団と宮仲神楽団のグループに出演していただきました。

全国的に、素牛不足による子牛相場の高騰が続いているよつです。

5年間の猶予を受けていましたが、11月1日より管理基準の適用を受けることとなりました。

採卵については32回、移植については88頭で受胎率48・1%と低い受胎率です。連続した猛暑続きの影響により受胎率が下がっているよつです。

### 敬老会

一人あたりの客単価はあまり変わらないものの、購買者数が年々減少しているよつです。

11月3日に、いちばん館をメイン会場に開催しました。

「豆で達者で豆ひろい競争」をめぐり、「健康講話」や「無料検診」、「歯の健康相談」などに、約300人が参加し、健康を考える有意義な一日となりました。

なお、この大会の運営に当たっては、毎年日赤奉仕団をはじめ相農飯館分校生、民生委員、個人ボランティアなど多数の方々に協力をいただいております。

として、記念樹「サンシユコ」と報奨金を贈呈しました。

### 健康フェスティバル

9月20日に飯館中学校体育館において開催しました。

「豆で達者で100歳をめざそう」をテーマとし、「健康講話」や「無料検診」、「歯の健康相談」などに、約300人が参加し、健康を考える有意義な一日となりました。

だき、「スライドで見る村の歴史」や、同級生による舞踊、カラオケなどでお互い久方ぶりの旧交を温めるとともに、村から招待される75歳の敬老会までの元気を誓い合っていたよつです。

現在、村の特別養護老人ホームに居られている星義継さん（深谷）が11月12日の誕生日で満100歳を迎えられました。

星さんにおかれましては、益々健康に留意されまして、さらに長生きされますようご祈念申し上げます。

今年度の招待者は、72歳以上の1、201名で、およそ650人の方々に出席をいただきました。

「豆で達者で豆ひろい競争」

第4回ふれ愛ピクニック

満100歳

星さん

当日は、恒例となった婦人会員による演芸の数々に、招待者の皆さんも大きな声援を送ったり、出席者同士で懇親を深め合ったりと、楽しいひとときを過ごされました。



豆で達者で豆ひろい競争

### 70歳到達同級会

今年で3年目を迎えた同級会は、11月6日に「宿泊体験館きこり」で開催しました。

11月7日、飯館中学校体育館を会場に開催しました。

当日は、70人の参加者のもと、「ペットボトルスローンボーリング」や「輪投げ」など5種目に熱戦が繰り広げられ、素晴らしい交流が図られていたよつです。

満100歳の誕生日には、自宅において、星さんの長寿をお祝いし、福島県知事の賀寿並びに記念品等の贈呈が行なわれました。村からは、「満100歳お祝い記念事業」



村老人クラブから星さんに贈られた賀寿

### 新潟県中越地震義援金

総勢208人の職員（臨時職員、いいたてホーム職員、社会福祉協議会

名の方々にご出席をいた

旧交を温めた同級会

積み53戸、現在建設中

減少となっております。

職員を含む）から、24万円のご協力をいただき、11月5日に日本赤十字社福島県支部へ送金しました。

また、秋まつり、健康フェスティバルで募金活動を行い、現在も役場の窓口、公民館、飯樋・草野診療所で募金活動を行っていますので、ご協力をお願いします。

## 台風の災害状況

10月9日から10日の台風22号については、総降雨量で154ミリ、1日当りの最大降雨量で140ミリとなりましたが、被害状況は農業用排水路等の村単独災害復旧事業4カ所となっています。その他、村道や農林道の被害については軽微なものでした。

10月20日から21日の台風23号については、総降雨量で145ミリ、1日当り最大降雨量で125ミリとなり、農地等の国

庫補助災害復旧事業で6カ所、村単独災害復旧事業で3カ所となっています。

## 飯樋小学校改修工事

飯樋小学校北・西校舎の改修工事は、10月25日に工事完了に伴う引渡しを受けました。

改修された特別教室での授業も始まり、児童たちの歓声が校舎内外に響いています。

今回改修した北・西校舎は、様々な交流や住民への開放も可能な施設としており、住民開放については来年度から実施できるよりに進めています。12月10日には、一連の校舎改築が竣工したことに伴う落成式典を実施しました。

今後の予定は、旧講堂などの取り壊しや駐車場整備など周辺整備工事ですが、これも早い機会に行い児童が学習に専念できるよりに努めていきます。

## 学校教育

村内小・中学校や幼稚園において、様々な催しが開催されました。

10月13日は「村内小中学校音楽祭」、10月16日は草野小、翌17日は白石小の「学習発表会」、10月23日は飯館中の「青蜻祭」、10月30日は飯樋小の「学習発表会」、11月20日は草野・飯樋幼稚園の「お遊戯会」、11月27日には白石小の「白石カニ二バル」がそれぞれ開催されました。



飯樋幼稚園のおゆうぎ会

また、12月14日には飯館中で「農業収穫祭」が開催されています。こつした活動を通して、保護者はじめ地域との交流が一層促進され、児童

生徒の健全育成に、多大な成果をあげたものと考えています。

## 村民体育大会

10月9日、10日も雨の天気となり、グラウンドコンディション等を検討した結果、中止を決定しました。昨年に続いての中止で大変残念です。

## 総合文化展

10月30日と31日の2日間、秋まつりの一環として開催しました「総合文化展」には、1、471人の村民の方から1、933点の作品を出展いただきました。昨年度より多くの方々にご来場いただきましたため、1日目を夜8時まで延長して公開したり、ミニ個展、お化けカボチャの展示などを行いました。期間中には2、200人もの皆様に来場いただき、盛やかな文化展となりました。

## 家族映画祭

今回も実行委員会の皆様のご協力をいただき、12月4日に「ハリーポッターとアズカバンの囚人」を上映しました。

今回は、午後と夜の部の2回上映し、329人の入場者がありました。チケット販売、上映運営など裏方を務められた実行委員の皆様へ感謝を申し上げます。

## 総合型スポーツクラブ

現在までの会員数は、正会員98人、準会員471人の合計569人です。村民の健康と体力増進を図るため、「だれもが・いつでも・気軽に」スポーツできる環境づくりを目的として、色々なメニューを準備して、会員以外の方でも参加でき、楽しめるようにしていますので、皆様のご参加をお待ちしています。